

月刊 セキュリティ研究

前民主党代表に聞いた 対外情報機関の必要性

衆議院議員 前民主党代表 **前原誠司**

イランにくすぶる火種と東アジア諸国の情勢

衆議院議員 **渡辺 周**

危機
管理
体制

大阪府

隣にある危機を意識できる大阪府を目指して

愛知県

災害対策に取り組む愛知県の「国民保護」
「危機管理」と情報ツール

2006

7

Security
Specialist
Association

特集

防災対策と映像情報

消防・防災機関が求める映像情報について

総務省消防庁 国民保護・防災部長 **小林恭一**

事業目標はニーズに基づく実利用 衛星で社会貢献

宇宙航空研究開発機構 衛星利用促進センター 防災利用システム室長 工学博士 **森山 隆**

注目の企業紹介 株式会社By-Qホールディングス

Info

特定非営利活動法人 **NBCR対策推進機構**

特定非営利活動法人 **日本情報安全管理協会**

特定非営利活動法人 **日本防犯学校**

連載

ニーモニックNEWS

ザ・ボディーガード

巻末
特集

セキュリティ業界有力企業一覧

広がる通信傍受(盗聴)対策の市場 ～盗聴探查事業への新規事業参入例～

日本情報安全管理協会
業務推進部 (通信傍受対策)

現在、日本情報安全管理協会では、グローバルスタンダードな通信傍受(盗聴)対策を目指し、ソリューション技術の研究・開発を行っている。またその一方で、新規事業提案として大手引越会社との業務提携による引越に伴う盗聴探查サービス、また大手警備会社との業務提携による盗聴探查サービスの実現により、市場の開発を進めている。そのような中で、最近では事業化を進めようとしている会社からの問い合わせが特に多い。

日本情報安全管理協会は、株式会社ジルコム総合研究所に続き、セキュリティ事業を展開している株式会社ジェイ・エル・エヌと戦略的業務提携を結び、通信傍受対策事業のノウハウを一部提供することによっての事業化支援を行い、また新たな市場の開拓に踏み出した。株式会社ジェイエルエヌは下記のごとく事業を展開している。

株式会社ジェイエルエヌが 情報漏洩監査サービスを始めました

セキュリティ事業を手がける株式会社ジェイエルエヌ(東京都千代田区 代表取締役 黒沼広樹)はソリューション事業の一環としてクライシスマネジメントチームを創設、特定非営利活動法人日本情報安全管理協会と業務提携をはかり、「情報漏洩監査サービス」の展開を開始した。法人個人を問わず、盗情報による被害の危険性を呼びかけている。情報漏洩監査には英国国防省などにも使用されている最先端機器を使用し、法人の機密情報を守るべく、日進月歩する盗聴技術に対抗する為、グローバルスタンダードな技術で、ソリューション事業を展開し、徹底的な情報漏洩の阻止に取り組んでいく。

情報漏洩の脅威

漏洩を防がなくてはならない情報とは個人情報に限ったことではない。新商品開発情報や役員などのキーパーソン情報、企業の長期計画、財務状況など多種多様である。また、ISMS(ISO27001:2005)の仕様でセキュリティ対策しても、重要な情報は守れないというリスクは消えず、言い換えれば、ISMSのセキュリティホールであり、ISMSのマークを取得することと、企業において情報セキュリティ対策は似て非なるものと考えられる。近年、日本国内でも会議室に盗聴器を仕掛けてその話を丸ごと盗み取る盗聴犯罪が急増しており、鍵をかけているから安全という時代ではなくなってきているというのが現状である。欧米諸国ではセキュリティ対策の一環として既に盗聴対策を行っているが、日本企業も、一刻も早く情報セキュリティレベルを向上しなければならない。

安全と安心の提供

ジェイエルエヌは、売上金回収サービスをはじめ、極めて精度の高いGPSを使用した車両位置管理システムの販売、ロケット技術を使った低圧で長距離放水が可能なAFT社製(ドイツ)消火装置「武蔵」を利用した災害時ボランティアネットワークの構築を進めている。また、「情報漏洩監査サービス」に於いては、特定非営利活動法人日本情報安全管理協会と業務提携を結びサービスの提供を行っている。日本情報安全管理協会では、独自の技術水準を定め、情報安全管理士・通信傍受対策技士一種、二種というライセンスを取得できた技術者のみ活動を許可しているため、技術レベルと信頼性は他社と根本的に違いその追随を許さ

会員募集のご案内

当協会は、社会を明るくするために(犯罪防止・仰視)一層を担うNPO法人です。現代における情報安全管理のモラルアップと一般市民、企業の安心・安全に付し、真に信頼される「情報セキュリティ(情報の安全管理)」の母体としての役割を持つべく活動を展開しています。国際的な水準の情報セキュリティの枠組みを作り上げるため、日夜、情報安全管理に関する技術研究・開発を進めております。情報安全管理士などの資格認定試験や情報セキュリティ(情報の安全管理)のセミナー、フォーラムを開催し、啓蒙・啓発活動を行なっております。

◆ 会員特典

- ☆ 当協会主催の資格試験受験・研修・講演会・シンポジウムへの会員価格による特別優待
- ☆ 情報セキュリティ(企業・個人)に関する相談が特別価格で受けられる。
- ☆ 「情報安全管理」等の資料提供
- ☆ 情報漏洩関連における技術開発等の資料を公開
- ☆ 当協会による情報管理専門分野への業務斡旋、派遣等を通じての啓蒙・啓発活動による社会貢献、社会参加の機会提供

◆ 入会方法

入会を希望の場合は、「入会申込書」を協会事務局宛にFAX、郵送にて御提出ください。詳しくは下記事務局までお問い合わせください。

◆ 入会金・年会費

	入会金	年会費
個人会員	10,000円	12,000円
法人会員	20,000円	36,000円

◆ お問い合わせ・お申し込み

特定非営利活動法人(NPO法人)
日本情報安全管理協会(JILCoM)事務局

〒108-0073 東京都港区三田2丁目14番5号712
TEL: 03-5765-7677 FAX: 03-5765-3181
URL: <http://www.jilcom.or.jp>
E-mail: jilcom@aiores.ocn.ne.jp

ない。時代の大きなニーズを受けて、確実にサービスの拡大に到っている。

情報漏洩監査サービスの概要

1. 認定試験に合格した情報安全管理士・通信傍受対策技士という信頼できる人物のみを派遣
2. 官公庁や民間大手企業など幅広いクライアントの依頼を受けているという実績
3. 盗聴器の探査・発見・除去だけでなく、情報漏洩監査の立場からの事細かなアドバイス
4. 英国製機器を使用し、世界最高レベルの盗聴器探査が可能
5. 他社では探索不可能なデジタル盗聴(ハーモ

ニック盗聴・バースト通信盗聴)、レーザー盗聴にも対応

6. 年間通し依頼現場数ポイントによる電波解析を行うため、異常時の早期対策が可能
7. 社内情報安全管理士の育成援助

事業展開

サービス開始は本年5月よりスタートし、ジェイエルエヌが関係する1800社のネットワークを対象に、講演、セミナー等実施し初年度5億円の売上を目指す。また、自社内でも情報安全管理士の育成を急ぐ。

本コーナーの
お問い合わせは

株式会社ジェイエルエヌ

セキュリティソリューションカンパニー クライシスマネジメントチーム
〒101-0061 東京都千代田区三崎町3-10-4
TEL: 050-5528-9530 FAX: 03-3222-1461
URL: <http://www.jln.ne.jp>
担当窓口: 秋好(アキヨシ)・相良(サガラ) e-mail: keibi@jln.ne.jp

特定非営利活動法人: 日本情報安全管理協会 事務局

〒108-0073 東京都港区三田2-14-5
TEL: 03-5765-7677 FAX: 03-5765-3181
URL: <http://www.jilcom.or.jp>